

= 受賞 =

本学教員が電気学会にて 平成 27 年電子・情報・システム部門誌論文奨励賞を受賞

(電気電子工学科)

このたび、本学電気電子工学科の佐藤勝助教が平成 27 年度電気学会論文誌 C 部門（電子・情報・システム部門）誌にて論文奨励賞を受賞しました。本賞は、電気学会 C 部門誌に 1 年間に投稿された全論文（平成 27 年度には 378 編）の中から、特に優秀と思われる論文 5 件に贈呈される賞です。今回受賞された論文は、佐藤助教が所属する集積エレクトロニクス研究室の武山真弓准教授が研究代表者として富士通研究所と共同研究を行った成果の一つとして論文投稿されました。また、今回の受賞では共同研究先の研究員である小林靖志氏の論文も同時に論文奨励賞を受賞し、5 件の中に本学関係者の 2 件の論文が受賞されるという快挙となりました。

この研究は、従来切望されてきた低温プロセスでの絶縁膜の作製に関するもので、シリコン貫通ビア（Through Silicon Via: TSV）に適用可能な技術として注目を集めております。さらに、これまでの手法による絶縁膜の特性劣化の要因について定量的な評価を行った点も高い評価を得ました。

受賞された論文は以下の通りです。

「TSV プロセスに適用可能な反応性スパッタ法を用いた SiNx 膜の低温作製」佐藤勝、武山真弓、小林靖志、中田義弘、中村友二、野矢厚 (Vol. 135, No. 7, 2015)

「3D/2.5D-IC TSV に向けた低温 SiNx の特性評価」小林靖志、中田義弘、中村友二、武山真弓、佐藤勝、野矢厚 (Vol. 135, No. 7, 2015)



表彰式にて受賞を喜ぶ佐藤助教（左）と小林氏（右）